

第39回 JC青年の船「とうかい号」

第38船 乗船者の声

第38船乗船 N.Gさん

はじめは正直早く終わらないかあ〜という気持ちが強かったが、乗るからには何かを得て帰ってこようと思えば乗船しました。時間が経過するたび「あと何日」から「もう何日」に変わっていく自分がいました。初めて会う仲間とともに時には口論し、時には語り合い、仲間と助け合いながら一つの目標に向かって進んでいきました。

研修では周囲への思いやりの心を育むとともに、家族・企業・地域など日常の生活の中で関わりを持つものへの感謝の気持ちを改めて認識する事ができ、研修船という現実世界と隔離された一週間で自分自身を見つめ直し他人を理解することを学ぶことができました。

寄港地活動(沖縄)においては過去を振り返り現実を見つめ、自国の歴史を再認識し、改めて先人たちへの感謝の心を覚えると同時に、私たちが平和に暮らしている今の日本をこれからも後世に残していく重大さを感じました。

この研修で得たものをその場限りのものとせず、自分の物に昇華させこれからの人生の柱としていかしていきます。

第38船乗船 T.Yさん

今回、とうかい号の話を頂いた時、行くか行かないかととても悩みました。最初は気が重かったのですが、研修を終えた今、参加して本当に良かったと思っています。中でも、フェスティバル委員に立候補した事により、普段は周りの目を気にし、自分の意見をなかなか言い出せない私が、今回の研修中に自分の意見を持ち、発言することが出来るようになりました。最初は初めて知り合った職種の違い25名と、限られた時間の中で作品が出来上がるのか不安でした。話し合いを繰り返す中で、徐々に意見が出る様になり、時には個々の考えや意見がまとまらない時もありましたが、優勝を目指す事を皆で意識した時、更にチームが一丸となり団結していききました。

皆の支えがあったからこそ乗り越えられた8日間は、私にとってかけがえのない財産になっています。今回の研修で学んだ【一歩踏み込む勇氣】と【感謝の気持ち】と、何よりも【仲間】を今後も大切にしていきたいです。

貴重な経験をさせて下さった会社やJCの方々には心から感謝しています。本当にありがとうございました。

第38船乗船 N.Iさん

船の上では、朝6時半から夜23時半までスケジュールがびっしりで、時間管理の勉強になりました。研修の最初には、自分を知るためにエゴグラムというものをやりました。自分の性格を知った上で研修を受けられたので、最後までわかりやすく受けることができました。

研修の終盤になると、夢に向かって「行動」することの大切さを学びました。行動することによって、失敗もあるがそれも大事で、失敗によって学ぶことは大きいということ学びました。これから仕事でも失敗をすることもあるかとは思いますが、それを恐れず、まずは積極的に「行動」して、その中で多くを学びたいと思います。

硫黄島、沖縄では、戦争の爪あとや地上戦があった場所等で戦争の恐さを感じました。戦争は二度としてはならないことだし、自分達が次世代にどう伝えていくのか考えさせられました。

乗船してみて、はじめは不安が大きかったのですが、徐々にチームの仲が良くなり団結力ができて、すごく楽しくなりました。

下船する前には、本当に皆がまだこのとうかい号に乗っていたという気持ちになるほど充実した8日間でした。

I 総合事務所 会社担当者様

「とうかい号」は以前から知っていましたが、1週間も仕事を休ませるのは難しいから無理だと決めつけていました。今回JCの方に研修船だという説明を受け、前年に特に頑張った社員に表彰旅行のつもりで「とうかい号」に乗せてみることにしました。本人には「1週間の仕事も自分で調整してみなさい」と課題を与え、「とうかい号」は旅行みたいだが研修がメインだと伝えて乗船中は積極的に活動することを期待して送り出しました。

「とうかい号」ではこれまで本人が経験してきた以上の深い人間関係を築けたと聞きました。弊社の仕事はお客様と深く人間づきあいするのが特徴ですが、「とうかい号」を終えてからはただ仕事をこなすだけでなく、お客様と人間同士深くかわりを持つことに積極的に取り組んでくれるように見受けられます。

本人を見ると、「とうかい号」に乗せて本当に良かったと感じています。かけがえのない経験をいただいた「とうかい号」に感謝申し上げます。



東海4県の若者が集い高めあう研修事業



各方面の講師による豊富な研修カリキュラム



航海中も船上で行われる様々な行事



スポーツや趣味などクラブ活動でも交流

第39回 JC青年の船

とうかい号

The 39th JC YOUTH VOYAGE TOKAIGO

ありがとう

～思いやりでつながる最幸の未来に向かって～

2012.6/2(土)～6/9(土)

寄港地 / 台湾



洋上研修船 乗船者募集

申込締切
2012
1/28(土)

2次締切
2012
2/18(土)



JCが運営する20歳から35歳までの青年を対象とした研修プログラムです。大型客船を使用し、約1週間をかけて一般青年約450名とJCメンバー150名で様々な研修プログラムを行います。各企業様の社員研修としても広く採用されております。

「とうかい号」をもっと知りたい方は
ウェブをご覧ください。

とうかい号 検索

第39回JC青年の船「とうかい号」では、人とのつながりを通じて自分を見つめ直し、思いやりや利他の心を身につけ、感謝のこころをもって行動できる青年の育成を目指します。

また、国際交流を通じて他国から見る日本の価値観を知り、日本人としてのアイデンティティを再認識し、今後の日本が進むべき道を探求して頂きます。



団長
加藤大武
(公社)岐阜青年会議所

行き過ぎた個人主義が問題視されているなか、東日本大震災での被災者の方々の毅然とした態度や助け合いの精神は世界中の尊敬と賞賛を集めました。日本人は古来より、礼節を重んじ、思いやりをもち、他に献身できる価値観を育ててきた民族です。多くの社会問題と災害という未曾有の国難に対して私たちは、先人たちのように団結し、この国難に立ち向かわなくてはなりません。そのためには、日本人が育ててきた固有の価値観をもう一度学ぶ必要があるのです。

今回、第39回を迎えるJC青年の船「とうかい号」では寄港地を台湾と定め、この国難に団結して立ち向かうため、壮大な大海原に抱かれながら、未来の核となる人材を育てる旅に出航致します。洋上という非日常的な空間の中、仲間と語り合い、助け合いながら研修を行うことで、日本人の本来持つ相手を思いやる心や、他人のために献身できる価値観を学んで頂きます。また、海外の青年との国際的な交流を通じて、海外から見た日本の価値観のすばらしさに触れて頂きたいと考えます。そしてそれらの過程で、今私たちは何をすべきかを自問自答し、答えを見つけて頂きます。その答えは必ず見つかるはずです。

自身を成長させ、共に困難に立ち向かう情熱溢れる仲間との出逢いが必ずここにはあります。今こそ国難を乗り越え明るく豊かな社会を実現する為に、勇気を持って一歩踏み出し、共に可能性という大海原に出航しよう。

結びとなりますが、この事業は多くの企業や地域の皆様のご協力がなければ成り立ちません。第39回JC青年の船「とうかい号」の趣旨をご理解頂き、将来を担う青年の育成にお力添えを頂ければと思います。私どもも全力で最高の「とうかい号」を構築し、一人でも多くの青年の成長を手助けしたいと考えています。



本部長
松崎英之
(社)瑞浪青年会議所

JC青年の船「とうかい号」は過去38回出港し、これまでに22,000名以上の青年が乗船した歴史ある研修船です。毎年20歳以上の青年約400名が団体生活を通して感謝の心を育みながら自己研鑽をし、一歩も二歩も成長した姿で下船後それぞれの職場等のフィールドで活躍できる人材を育成して参りました。

今年度39回を迎える「とうかい号」は、ありがとう~思いやりでつながる最幸の未来に向かって~をスローガンに掲げ、出港します。

日本は多くの経済的、社会的問題を抱え、さらに東日本大震災は大きな傷跡を残しました。この国難に対し、先人が過去の国難を乗り越えてきたように、私たちは人と人とのつながりと思いやりを大切に、周囲の人びとのために行動する必要があるのです。

そのため、8日間の団体生活を通じてまずは自分自身を見つめ直すことで、自身の存在意義を再確認して頂き、他者を理解し助け合いながらチームで一つの目的に向かって進むことで、自分は周囲の人びとに助けられて生きていることを体感し、感謝する心を育みます。また寄港地は、かつて私たちの先人たちがその価値観を色濃く残し、深いつながりがある台湾を訪れます。現地の青年と交流することにより相互理解と友好を深め、東日本大震災で多くの支援をいただいたことに対する感謝の気持ちを育てて頂きます。さらに、他国から見る日本の価値観を知り、日本人のアイデンティティを再認識して頂くことで今後の日本が進むべき道を探求して頂く機会を設けます。

人は人とのつながりなしでは生きていけません。だからこそ生かされていることへの感謝の心が大切です。東海地区が、人と人が思いやり、感謝の心を持つことで自分自身よりも他人のために行動する人びとが溢れた地域となれば、やがては日本全体を幸せにする力を持つことが出来るのです。お互いが幸せを願い合う「最幸」の未来に向けて確かな一歩を踏み出します。

ご乗船を心からお待ちしております。

募集要項

- ▶ 名称 第39回JC青年の船「とうかい号」
- ▶ 主催 公益社団法人 日本青年会議所 東海地区協議会
- ▶ 主管 公益社団法人 日本青年会議所 東海地区 岐阜ブロック協議会
- ▶ チャーター船 ふじ丸(23,235トン)日本チャータークルーズ株式会社
- ▶ 旅行会社 株式会社JTB中部
- ▶ 寄港先 台湾
- ▶ 航海日程 2012年6月2日(土)~6月9日(土)の8日間
- ▶ 募集人数 428人
(原則として岐阜、愛知、三重、静岡各県の男性、女性)
- ▶ 参加資格
 1. 原則として、年齢20歳より35歳までの男性、女性で各地青年会議所理事長に推薦される人
(推薦資格については、各地青年会議所にお問い合わせください)
 2. 健康状態が良好で、軽い運動が含まれる長期の団体行動に耐えられる人
(特に心臓、胸部、精神症、伝染疾患のない人)
 3. 青年として恥ずかしくない常識を備え、明朗で協調性に富み団体行動に適応しうる人
(ア) 団体行動の規律に従い、出航から帰港まで終始団体行動を厳守しうる人
(イ) 今回の「とうかい号」の活動に関心を持ち、帰港後その成果を積極的に活かす人
(ウ) 下記に記す事前研修に参加できる人
 4. 公的秩序を乱すことのない容姿の人
 5. 過去に「とうかい号」乗船経験の無い人
- ▶ 事前研修 各ブロック、各地青年会議所で行われるオリエンテーション及び結団式(2012年4月29日(日))に参加して頂きます
- ▶ 参加心得
 1. 自由行動以外は、スケジュールと規律を守ること
 2. 健康に注意し、長期の航海に耐えられる体作りをしておくこと
 3. 現地に関して、事前学習しておくこと
 4. 早めに家族・職場の承諾を得ておくこと
- ▶ 参加費用 223,000円
- ▶ 参加取消費用 乗船決定通知後、契約が成立の為、料金が発生し、返金不可になります
- ▶ 申込先 各地青年会議所または「とうかい号」事務局
- ▶ 申込締切 2012年1月28日(土) 2次締切 2012年2月18日(土) ※但し、定員になり次第締め切らせて頂きます
- ▶ 必要書類 参加申込書・写真2枚・誓約書・推薦書・健康アンケート・乗船者診断書・パスポートのコピー(顔写真掲載ページ)
- ▶ 参加決定 選考は第39回JC青年の船「とうかい号」事務局にて行います
参加決定通知書は、申込締切後、15日以内に送付します

研修スケジュール

6/2 sat	名古屋港	出航式 船内オリエンテーション 研修
6/3 sun	ふじ丸	研修
6/4 mon		研修
6/5 tue	台湾	寄港地活動
6/6 wed		寄港地活動
6/7 thu	ふじ丸	研修
6/8 fri		研修
6/9 sat	名古屋港	研修 帰港式

